

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎について

【感染経路】

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、「溶血性レンサ球菌」に感染することで起こる感染症です。感染した人の「咳やくしゃみなど」のしぶきに含まれる細菌を吸い込んだり、しぶきのついた手で、目や口を触ったりすることで人から人に感染します。人と人との接触の機会が増加するときに起こりやすく、家庭、学校などの集団での感染も多いです。感染性は急性期にもっとも強く、その後徐々に弱まります。

【症状】

扁桃炎、伝染性膿痂疹（とびひ）、中耳炎、肺炎、化膿性関節炎、骨髓炎、髄膜炎等の様々な症状があります。突然の発熱と全身倦怠感、咽頭痛によって発症し、しばしば嘔吐を伴います。

潜伏期は2～5日ですが、潜伏期での感染性については分かっていません。

【治療】

一定期間抗菌薬を服用します。

【予防】

インフルエンザと同じように、手洗い・うがいで予防できます。また、人ごみはできるだけ避け、マスクを着用しましょう。